

## 中国天然ガス産業の企業参入と「国進民退」現象の一考察

### —天然ガス産業バリューチェーンの分析を通して—

楊秋麗（立命館大学）

Yang Qiuli (Ritsumeikan University)

#### はじめに

本報告は中国の天然ガス産業に焦点を当て、天然ガス産業バリューチェーンを生産・輸入（上流）、輸送（中流）および天然ガスを原料とする都市ガスの供給（下流）という3つの分野に分けて、それぞれの分野における企業ガバナンスの特徴（株式所有、株式上場）および市場ガバナンスの構築（取引市場の設立、参入規制の緩和、価格制度の改革）の動向による影響を明らかにする。

中国の天然ガス産業を含む石油化学産業は、中国の「戦略的産業」であり、近年中国経済に対して提起された「国進民退」論争や「国家資本主義」論において、「国進民退」や「国家資本主義」の根拠となる代表格として取り上げられている。そもそも「国」色の強いこの産業において、企業の「進」と「退」という動きで議論するのであれば、むしろ「国退民進」、すなわち、民間企業の参入、国有企業の「民営化」は議論の対象として適切であろう。確かに、2012年5月に「国有企業制度改革における積極的に民間資本を誘致する指導意見について（関于国有企業改制重組中積極引入民間投資的指導意見）」が公表されてから、国有企業が多く参入している天然ガス産業においては、民間資本の参入は予測できる。しかし、天然ガス産業バリューチェーンを生産・輸入（上流）、輸送（中流）および都市ガスの供給（下流）という3つの分野に分けてみれば、現段階では、「国進民退」も「国退民進」も簡単に評価できない。

本報告では、上述の論点を念頭において、以下のように議論を展開する。

#### 1. 中国天然ガス産業の発展要因

中国天然ガス産業の発展要因として、石油代替エネルギーの需要増加、環境政策の推進、天然ガス供給インフラの整備、都市ガス産業での天然ガス利用拡大があげられる。

#### 2. 中国天然ガス生産・輸入（上流）分野における「国進民進」

ここでは、天然ガスの国内生産とLNGの輸入に焦点を当て、「官官競争」、官民競争による「国進民進」の特徴およびLNG取引市場の設立による影響を明らかにする。

#### 3. 中国天然ガス輸送（中流）分野における「国退民進」の動向

ここでは、パイプライン輸送の民営化による「国退民進」の経緯および明確な参入基準の設定による民間資本参入の可能性を検討する。

## 4. 中国の都市ガス供給（下流）分野における「国進民退」の一側面

ここでは、都市ガス供給における国有企業による民営企業の買収事例を通じて、「国進民退」の一側面を明らかにし、価格制度改革により、「国」と「民」の間の競争はより熾烈になり、「進」「退」競争はこれからも続くという結論で締めくくる。

### おわりに

中国天然ガス産業の参入企業を見ると、中国石油天然気集团公司の1社を除き、バリューチェーンを通して垂直的に統合した企業が少ない。この点は日本の都市ガス供給を主業として天然ガス産業に参入した企業の特徴と異なっている。日本の都市ガス供給大手事業者4社（東京ガス、大阪ガス、東邦ガス、西部ガス）は、主に巨大都市圏を供給地域とし、生産（輸入）・輸送・供給を垂直的に統合している。その一方で、中国では、上述のように、生産・輸入は中央企業3社（中国石油天然気集团公司、中国石油化工集团公司、中国海洋石油总公司）により寡占され、パイプライン輸送は中国石油天然気集团公司によりほぼ独占している。一方では、都市ガス供給は異なる中央企業、地方国有企業、民営企業、外資企業によって担われている。この意味で、中国の天然ガス産業バリューチェーンにおける生産・輸入（上流）、輸送（中流）および都市ガスの供給（下流）という3つの分野はそれぞれ異なる企業参入の特徴がみられる。

生産・輸入を寡占する中央企業3社は株式上市により、国有法人株支配を維持しながら、民間資本を調達し、国内ガス田生産の拡大、海外ガス田の獲得、およびLNG受入ターミナルの建設により、ますます規模拡大し、進化している。一方では、LNGの輸入において、民営企業、外資企業は政府によるLNG受入ターミナルの第三者アクセス許可を利用して、LNGの輸入事業に参入し、LNG取引所の設立により、卸売市場も獲得できた。この意味で、中国天然ガス生産・輸入（上流）分野において、「国進民進」現象がみられる。

現在、幹線天然ガスパイプラインの約84%は中国石油天然気集团公司に保有され、輸送事業はほぼこの中央企業1社に独占されている。しかし、2014年2月13日に公表された「石油・天然ガスパイプライン公平開放の監督管理方法（試行）」により、明確な参入基準が設定され、本格的な民営企業、外資企業の参入可能性が高まってきた。この意味で、中国天然ガス輸送（中流）分野において、「国退民進」の動向がみられる。

都市ガス供給事業には、中央企業、地方国有企業、民営企業、外資企業、中国代表的な4形態の企業が参入しており、激しい競争を繰り広げている。勝ち抜くために、とくに国有企業による民営企業の買収が顕著にみられ、「国進民退」の一側面がある。しかし、価格制度改革により、「国進民退」と「国退民進」の両面が予想される。

本報告では、中国の天然ガス産業バリューチェーンのそれぞれの分野における特徴を重要視するあまり、それぞれの分野の現状と変化は他の分野に与える影響に対する研究を欠けており、今後の研究課題が残された。